

事務事業名		小河原地区道路新設事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																						
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目																						
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業																		
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	45																		
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 平成24年度～平成29年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分																						
所 属	部課名	都市整備部建設課				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																						
	課長名	阿部博基																										
	係名	土木係	電話 0192-27-3111																									
	担当者	高橋史子	内線 316																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																								
津波により壊滅的な被害を受けた末崎町地区は高台に平地が少ないため、被害者の大部分は高台移転が難しい状況である。このため、防災機能を付加した道路を新設することで既往最大津波に対する被害を抑制し、背後の既存住宅用地を有効活用するとともに、住宅被災者の自力再建を促すものである。 本路線の整備は、延長820m(本線590m、枝線230m)、幅員8.5m(本線・片側歩道)とする。 【計画期間】 測量調査設計(1式) 平成24年度～平成27年度 用地測量、補償調査業務(1式) 平成25～平成26年度 用地買収、補償業務 平成25年度～平成28年度 工事施工(820m) 平成27年度～平成29年度 事業費は、委託費、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支払われる。				総投入量(千円) <table border="1"> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>754,210</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>188,553</td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>942,763</td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td>3</td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td>1,840</td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>7,360</td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>950,123</td></tr> </table>					国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他	754,210	一般財源	188,553	事業費計(A)	942,763	正規職員従事人数	3	延べ業務時間	1,840	人件費計(B)	7,360	トータルコスト(A)+(B)	950,123
国庫支出金																												
都道府県支出金																												
地方債																												
その他	754,210																											
一般財源	188,553																											
事業費計(A)	942,763																											
正規職員従事人数	3																											
延べ業務時間	1,840																											
人件費計(B)	7,360																											
トータルコスト(A)+(B)	950,123																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
工事施工(433m)		ア	用地買収面積
			m ²
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	施工延長
			m
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
計画道路新設位置より北側の住居区域		名称	
		単位	
		カ	計画総延長
			m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	計画新設道路位置より北側の浸水区域
市道を新設する。 (計画道路新設位置より北側の浸水区域において)既往最大津波に対する被害を抑制する。			m ²
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ク	
浸水被害を最小限に抑えられる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	供用開始新設道路延長
			m
		シ	既往最大津波に対し浸水が抑えられる区域
			m ²
		ス	整備率(浸水が抑えられる区域/浸水区域)
			%

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	239,507	131,311	181,997			
		一般財源	千円	59,877	32,828	45,613			
		事業費計(A)	千円	299,384	164,139	227,610	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2			
		延べ業務時間	時間	620	620	600			
		人件費計(B)	千円	2,480	2,480	2,400	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	301,864	166,619	230,010	0	0	0
⑤ 活動指標		ア	m ²	16460	0	0			
		イ	m	387	820	820			
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	m	820	820	820			
		キ	m ²	87500	87500	87500			
		ク							
⑦ 成果指標		サ	m	387	387	820			
		シ	m ²	87500	87500	87500			
		ス	%	44.0	88.6	100.0			

事務事業ID	1559	事務事業名	小河原地区道路新設事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
津波により壊滅的な被害を受けた末崎町地区は高台に平地が少ないため、被害者の大部分は高台移転が難しい状況である。防災機能を付加した道路を新設することで既往最大津波に対する被害を抑制し、背後の既存住宅用地を有効活用するとともに、住宅被災者の自力再建を促すため、復興交付金申請を行い、平成24年度から事業を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
地域の理解が進み、協力的になった

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	道路を新設することにより、既往最大津波に対して計画位置より北側の区域への浸水が抑えられるので、津波対策の推進につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	道路を新設することにより、既往大津波に対して対象区域への浸水が抑えられるので、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	浸水が抑えられる区域となっていることから、これ以上の成果向上余地为認められない。(道路が新設されることにより対象区域が危険区域外となり、住宅再建が可能となることから、計画区間の新設が行われなければ事業の目的は達成されない。)
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	既往最大津波が再度発生した場合、対象区域が大きな被害を受ける。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	平成29年度で事業完了した。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 平成29年度で事業完了した。
---	---------------------------------------